

進路に関わる情報を、少しずつ分かりやすく説明します

今回のテーマ

在校生職能評価(職業能力評価)について



- 対象は高等部2年生、3年生の一般就労希望者のうち本評価を希望する者
- 総合リハビリテーションセンターにおいて、実際の就労に近い環境で作業実習を行います。
- 作業条件、作業特性、作業志向等について評価を受け、進路指導に役立てていくものです。
- 事後、客観的な評価結果データが送付されます。
- 原則として総合リハビリテーションセンターに宿泊します。

〈対象者〉

- 高等部2年生、3年生の一般就労希望者のうち本評価を希望する者です。また「身辺自立ができている」「服薬の管理ができる」「宿泊施設の規則が守れる」ことが条件となっています。

〈利用期間〉

- 4日間（土・日・祝日を除く）です。

〈実施（評価）機関〉

- 兵庫県総合リハビリテーションセンター 能力開発施設（神戸市西区曙町 1070）

〈作業課題〉

- 2年生は基礎評価となり、「ビス・ナット（またはボルト・ワッシャ・ナット）の組立作業」「電源コネクタ組立作業」「タオルたたみ作業」「仕分け作業」「エア・ドライバー操作作業」「ネジ計数、瓶詰め作業」「図形の模写作業」に取り組みます。
- 基礎評価を受講済みの3年生は応用評価となり、「ライン作業」「ピッキング作業」「荷物の運搬」「清掃」「サービス（接客）」「職業準備（身辺処理、対人関係、マナー）」に取り組みます。

〈申し込み〉

- 利用前年度の12月頃に高2・3年生の社会コースの保護者向けに案内（希望アンケート）を出します。